2. 事業の目的と概要	
<p>(1) 事業概要</p>	<p>南アフリカ共和国クワズールー・ナタール州ウグ郡ウムズンベ自治区とレイ・ンコニエニ自治区にまたがり位置するドウエシューラ学区において、12校（小中学校9校／高校3校）を対象に、1年次には図書室を設置、蔵書を配備し、生徒が読書や本を利用した自習ができる図書環境を作る。また、図書室の運営と利用推進をする図書委員会を設立、育成し、彼らが推進役となって学校全体の読書習慣を育てていく。</p> <p>2年次には、蔵書補充による図書室設備の充実化、図書委員会の育成、図書習慣の普及に注力し、図書活動の持続発展性を確かなものにしていく。また、パソコンを設置し、リソースセンターとして発展させ、図書委員会生徒を中心に、進学・就職に必須となるパソコン基礎技能を教え、彼らが他の生徒に技術を教えられるように指導する。</p> <p>The project targets 12 schools (9 primary and 3 secondary) in Dweshula District which spreads over both Umzumbe and Rei Nkonyeni Municipalities to help enhance the basic academic abilities and computer skills of the school learners through the following 1 and 2 in the initial year and 3 in the second year.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Set up a library room and supply books creating a new reading and self-studying environment for learners. 2. Set up and train a learners' library committee to be put in charge of the library management and promotion of learners' library visits nurturing their reading habits. 3. Set up a computer in the library making the library space develop into a resource center. Teach the library committee members the basic computer skills so that they can pass on their acquired skills to their peers,
<p>(2) 事業の必要性（背景）</p>	<p>ア) <u>対象地域における若者の低学力と失業問題</u></p> <p>民主主義国家として再出発し約 25 年を経た南アフリカ共和国は、経済発展を遂げてきた一方で、社会・経済格差はさらに拡大し、国の発展から取り残された地域や人々が多く存在する（全国 2018 年度第 4 四半期失業率 27.1%）⁽¹⁾。特に地方においては、国や地域の発展を担うべき若者の高い失業率が深刻な社会問題となっている。ドウエシューラ学区は、若者の失業問題をかかえる典型的な地方であるクワズールー・ナタール州ウグ郡（若者失業率 46.35%）⁽²⁾に位置する。郡内の産業が未発達で働く場が少ないことも挙げられるが、学力レベルが低く（20 歳以上で学校教育を全く受けていない人口 12.4%、高校卒業者 23.7%）⁽²⁾、若者が就職や自営業に必要とされる最低限の学力と技術を習得せずに社会に出ていることが高い失業率の原因と考えられる。特に、彼らの英語力不足⁽³⁾とパソコン操作技能がないことは、職場や大学・専門学校において英語が一般的に使われ、最低限のパソコン操作技能が求められる同国において、進路を阻み健全な社会参加を妨げる要因になっている。</p> <p>イ) <u>ドウエシューラ学区の現状</u></p>

当会が支援してきたウムズンベ自治区ムタルメ／トゥートン学区内の学校には図書室が設置され、生徒が本を読める環境になったが、近隣のドウエシューラ学区（学校数 26 校）の学校ではいまだに図書室がなく、生徒たちが教科書以外の本に接する機会がほとんどない状況が続いている。公共図書館は郡庁のあるポートシェプストンにしかなく、学区内の生徒は交通費が工面できないことや平日の放課後は時間が間に合わない等の理由から図書館を利用することは難しい。また、学区内には本屋が一軒もないため、生徒は学校の外でも本にアクセスする機会がない。

ドウエシューラ学区および周辺地域は、ここ数年開発が進まない山間部から多少インフラが整った沿岸部への人口移動が起り、これに伴い、山間部の学校から沿岸部の学校へ転校生が増えている。沿岸部の学校は設備や教師不足のため急増する生徒数に対応できず、山間部の学校は、生徒数減少により教師の数が減らされ合併クラスができるなど、双方で少し落ち着かない教育環境にある。ドウエシューラ学区は沿岸部から山間部までを範囲とするため、特にこの問題が顕著である。ムタルメ／トゥートン学区においても、生徒数の急増や激減に学校側が対応できず混乱している学校が数校あったが、図書室が設置されたことで、生徒たちは自由に読書や自習ができるようになり、また、教師が授業に図書を副読本として効果的に活用するなどして、英語力や学力を高めていった。ドウエシューラ学区においても生徒たちの学力向上のために、図書室で読書や自習ができ、教師が図書を授業に教材として活用できる図書環境作りが必要であると考え、この認識を共有するドウエシューラ学区長からも当会に同学区内での学校図書支援の依頼があった。

ウ) これまでの学校図書活動の成果と対象学区への応用

当会は 2013 年に、ウグ郡ウムズンベ自治区内のムタルメ／トゥートン学区で学校図書支援活動を始め、2015 年度から 2016 年度まで同学区において N 連事業として、小中高 30 校を対象に図書室を活用した英語力向上指導とパソコン技術指導を行った。当初全ての対象校には図書室がなく、生徒たちは本を借り読書をした経験がなかったため、全対象校に図書室を設置した後、図書委員会を設立し、図書室を運営・管理し図書推進をしながら学校全体に読書習慣を育てていくように指導をした。

事業完了時の司書教師へのアンケート調査結果（添付資料 1）から活発な図書活動と、それに伴う着実な英語力向上がみられた。また、高校卒業試験（Matric）の英語試験における対象高校 12 校の平均合格率が 2015 年の 38%から 2017 年には 98%と飛躍的に上昇した（添付資料 2）。この結果には、教師の努力など他の様々な要因も考えられるが、州教育省学区長を始め多くの教育関係者から「各校に図書室ができたことで生徒が英語の本を読む機会が増え、読解力がついたことが試験結果にも繋がった」と認識され感謝の言葉ももらった。図書室を活用したパソコン指導においても、対象校アンケート結果（添付資料 3）が示す通り、着実な成果を上げた。

事業終了後は、州教育省図書部門（ELITS）が対象校図書室に蔵書の補充をするようになり、図書委員会が引き続き図書室をしっかりと運営・管理し、自立した図書推進活動を続けている。また、パソコン技術を習得した図書委員会生徒が指導生徒となり他の生徒たちに技術を教え

	<p>ることで、図書室でのパソコン技術指導も継続している。 ムタルメ/トゥートン学区での活動経験をドウエシューラ学区で応用していきたいと考える。</p> <p>(1) 参考資料 STATS SA/ Quarterly Labour Force Survey (2) 参考資料 STATS SA / Local Municipality Statistics (3) 参考資料 Dweshula Circuit Analysis of Result (2019 年 5 月 13 日 同学区長より入手) 同学区対象高校 3 校の 2018 年度卒業試験 MATRICS 不合格 (29 点以下) 率平均: 約 34%</p> <hr/> <p>●「持続可能な開発目標(SDGs)」との関連性 以下に沿った事業である。 SDGs 目標 4 「すべての人に包括的かつ公平な質の高い教育を確保し、障害学習の機会を促進する」 該当ターゲット: 4.3 4.4 4.6</p> <hr/> <p>●外務省の国別開発協力方針との関連性 当事業は、対象地域の若者が社会で健全に生きるために必要な基礎学力と技術を習得することを目指すものである。学力と技能不足のために労働市場への参加も起業もできずに社会的弱者となっている貧困地域の若者が経済・社会参加できるように人材育成をする事業であることから、外務省の対南アフリカ共和国別援助方針で重点分野である「人材基盤の強化とインフラ開発促進支援」と「社会的弱者の経済・社会参加支援」に沿っている。</p> <hr/> <p>●「TICADVIにおける我が国取組」との関連性 「TICADVI における我が国取組の「皿繁栄の共有に向けた社会安定化」に該当する。</p>
(3) 上位目標	ドウエシューラ学区における若者の基礎学力・英語力および技能向上による経済・社会参加の増大
(4) プロジェクト目標 (今期事業達成目標)	<p>ドウエシューラ学区の対象校に学校図書室および図書委員会が設立され機能することで、生徒が本を利用して学習できる環境と図書室利用を推進する体制が整い、読書と自習の習慣が育まれる。また、図書室と図書委員会を活用し、パソコン操作技術指導を行い、他の生徒に指導ができる生徒を育てる。</p> <hr/> <p>学校図書環境の基盤が整い、生徒たちが図書室を利用して読書と自習ができるようになる。</p>
(5) 活動内容	<p>1. 学校図書室の設置と設備の充実 (1 年次、2 年次) 対象校: 12 校 (小中学校 9 校、高校 3 校) 生徒数: 約 6,008 名 1-1 スペースのある学校には空いている一室を使い、スペースのない学校にはコンテナを購入し、本棚と蔵書を設置し図書室を作る。 (1 年次 800~1000 冊: 2 年次 500~800 冊)</p> <p>1-2 日本国内で英語の本を収集、分類、梱包して南アフリカに送る。TAAA 南ア事務所で受け取った本の分類整理をし、対象校 12 校に配布する。</p> <p>1-3 英語および現地語 (ズールー語) の本を現地で購入し、対象校</p>

	<p>に配布する。 (1 年次 50-70 冊、2 年次 50-70 冊)</p> <p>1-4 対象校全校の図書室にパソコンおよびプリンターを一台ずつ設置してリソースセンターとする。(2 年次)</p> <p>2. 図書委員会の設立と図書運営・管理能力および図書推進能力の育成 (1 年次、2 年次) 司書教師：24 名 (各校 2 名) 図書委員会生徒：96 名 (各校 8 名)</p> <p>2-1 各対象校で司書教師と複数学年から選出された生徒から成る図書委員会を設立し、各校に合った図書室管理・運営システムを作る。(1 年次、2 年次)</p> <p>2-2 司書教師対象の研修会を開催し (年 2 回)、基礎的な司書教育を行う。(1 年次、2 年次)</p> <p>2-3 TAAA 図書指導員は、図書委員会生徒に図書の貸し出しや整理など、基礎的な図書運営の仕方を指導する。(1 年次、2 年次)</p> <p>2-4 図書委員会生徒が中心となって校内で図書室利用促進活動を行い、TAAA 図書指導員が各対象校を巡回訪問して活動をモニタリングし、アドバイス、サポートを行う。(1 年次、2 年次)</p> <p>2-5 各対象校で学年末 (12 月) から新年度 (1 月) にかけて、TAAA 図書指導員の指導の下で委員会生徒の新旧交代と引き継ぎを行う。(2 年次)</p> <p>3. 読書習慣を育む (1 年次、2 年次)</p> <p>3-1 TAAA 図書指導員は対象小学校で教師と共に英語の本の読み聞かせと音読指導をする。対象中高校では図書委員会生徒と共に英語の本の紹介や読書推進活動を行う。(1 年次、2 年次)</p> <p>3-2 本を借りた生徒は、年に 1 回以上英語または現地語 (小学校低学年) でブックレビューを書いて提出し、司書教師と TAAA 図書指導員がチェックする。(1 年次、2 年次)</p> <p>3-3 各対象校で年に 1 回以上、司書教師の監督の下、読書感想会、音読イベント、スペリングコンテスト等の図書イベントを開催する。また、生徒がポスターや詩の制作をして読書推進を行う。 (1 年次、2 年次)</p> <p>4. パソコン技術指導 (2 年次) 対象校：12 校 (小中学校 9 校、高校 3 校) 司書教師：24 名 (各校 2 名) 図書委員会生徒：96 名 (各校 8 名)</p> <p>4-1 司書教師を対象とした研修会を開催し、活動内容の確認や活動の進め方を指導する。</p> <p>4-2 TAAA 図書指導員は、対象校を巡回して図書委員会生徒にパソコンの基礎操作技術を指導する。知識と技術習得を確認するテストを行う。</p> <p>4-3 司書教師の監督の下、技術を学んだ図書委員会生徒が図書室で他の生徒に指導し、TAAA 図書指導員が活動をモニタリングする。</p>
--	---

	<p>直接裨益人口：6308 人 対象校 12 校の司書教師：24 名、図書委員会生徒：96 名 全生徒数 6008 名・教師数 180 名</p> <p><u>生徒数内訳</u></p> <table border="0"> <tr> <td>Beulah Primary 394 名</td> <td>Imbalencane Primary 944 名</td> </tr> <tr> <td>Cophela Primary 777 名</td> <td>Duduzile Secondary 556 名</td> </tr> <tr> <td>Dweshula Primary 470 名</td> <td>Emseni Primary 150 名</td> </tr> <tr> <td>Malusei High 485 名</td> <td>Mangquzuka High 611 名</td> </tr> <tr> <td>Mehlomnyama Primary 285 名</td> <td>Mgamule High 595 名、</td> </tr> <tr> <td>Nani Junior Secondary 241 名</td> <td>Umalusi Primary 500 名</td> </tr> </table>	Beulah Primary 394 名	Imbalencane Primary 944 名	Cophela Primary 777 名	Duduzile Secondary 556 名	Dweshula Primary 470 名	Emseni Primary 150 名	Malusei High 485 名	Mangquzuka High 611 名	Mehlomnyama Primary 285 名	Mgamule High 595 名、	Nani Junior Secondary 241 名	Umalusi Primary 500 名
Beulah Primary 394 名	Imbalencane Primary 944 名												
Cophela Primary 777 名	Duduzile Secondary 556 名												
Dweshula Primary 470 名	Emseni Primary 150 名												
Malusei High 485 名	Mangquzuka High 611 名												
Mehlomnyama Primary 285 名	Mgamule High 595 名、												
Nani Junior Secondary 241 名	Umalusi Primary 500 名												
<p>(6) 期待される成果と成果を測る指標</p>	<p>1. 図書室の設置と設備の充実</p> <p>1-1 スペースのある学校には空いている一室に、スペースのない学校にはコンテナを購入し、本棚と蔵書を設置して図書室を作る。</p> <p>【成果】対象校全 12 校で図書室が設置され、各校で蔵書が最低必要数揃い、図書室として利用できる状態になる。</p> <p>【指標】各対象校で、1 年にはレベルと需要にあった蔵書 800～1000 冊が配備され、ジャンル毎に分類される。図書の貸し出し、図書室内での読書・自習ができる環境になっている。2 年次には各対象校で 500～800 冊が補充されている。</p> <p>〈確認方法〉 プロジェクトマネージャーおよび TAAA 図書指導員によるモニタリング。ELITS 地域担当者が各対象校を訪問し、モニタリングシートを用いて図書室環境を確認し評価を TAAA に提出する。</p> <p>1-2 日本国内で英語の本を収集し南アフリカに送る。TAAA 南ア事務所で受け取った本を分類し、対象校全 12 校に配布する。</p> <p>【成果】日本から英語の本を送ることで TAAA 南ア事務所の在庫を補充し、各対象校へニーズに合った蔵書を予定冊数（1 年次 800～1000 冊、2 年次 500～800 冊）配布できるようになる。</p> <p>【指標】1 年次 日本から 1 万冊以上の英語の本を南アに送る。 2 年次 日本から 7000 冊以上の英語の本を南アに送る。</p> <p>〈確認方法〉出荷する本の集計表</p> <p>1-3 英語および現地語（ズールー語）の本を現地で購入し、対象校全 12 校に配布する。</p> <p>【成果】対象校全 12 校の司書教師のリクエストに応じた現地の本を</p>												

	<p>一定数揃えることができる。</p> <p>【指標】各校の図書室に、司書教師がリクエストした本が1年次50-70冊、2年次50-70冊が配備される。</p> <p>＜確認方法＞司書教師からのリクエスト票、TAAA 図書指導員によるモニタリング、ELITS 地域担当者の確認・評価。</p> <p>1-4 対象校全 12 校の図書室にパソコンおよびプリンターを一台ずつ設置してリソースセンターとする。(2年次)</p> <p>【成果】対象校全 12 校の図書室にパソコン及びプリンターが一台ずつ設置され、機材が利用できる状態になる。</p> <p>【指標】各対象校でパソコンとプリンター等の機材が設置され、しっかり管理されている。生徒たちがパソコンを使って調べものや学習ができる環境になっている。</p> <p>＜確認方法＞プロジェクトマネージャーおよび TAAA 図書指導員によるモニタリング。ELITS 地域担当者のモニタリングシートを用いて図書室環境を確認し評価をし、TAAA に提出する。</p> <p>2. 図書委員会の設立と図書運営・管理能力の育成</p> <p>2-1 対象校全 12 校で図書委員会を設立し、図書室管理・運営システムを作る。</p> <p>【成果】対象校全 12 校に図書委員会が設立され、図書室管理・運営システムが確立する。</p> <p>【指標】各対象校で司書 2 名と 8 名の図書委員会生徒が選出され、メンバー登録をして活動内容を確認する。各対象校で図書室管理・運営システムが策定、明記され、校長と図書委員会メンバー全員に周知される。</p> <p>＜確認方法＞TAAA 図書指導員によるモニタリング（モニタリング表 5 段階評価でレベル 4 以上が合格。項目：委員会メンバー選出、図書室の時間割と委員会生徒の役割分担が設定・実施、図書委員会の方針や任務が明記、ミーティングが定期的に開催）</p> <p>図書委員会規定・方針書</p> <p>2-2 司書教師対象の研修会を開催し（年 2 回）、基礎的な司書教育を行う。</p> <p>【成果】司書教師が基礎的な図書室運営・管理のための知識と方法を習得し、実践できるようになる。</p> <p>【指標】①対象校全 12 校の司書教師全 24 人が、ELITS 地域担当者のモニタリング評価に合格する。②図書室の運営・管理、図書委員会生徒の活動監督を行っている。</p> <p>＜確認方法＞TAAA 図書指導員によるモニタリング。ELITS 地域担当者が各対象校を訪問し、モニタリングシートを用いて司書教師にインタビューを行い評価をし、TAAA に提出する。</p> <p>2-3 TAAA 図書指導員は、図書委員会生徒に図書の貸し出しや整理など、基礎的な図書運営の仕方を指導する。</p> <p>【成果】対象校全 12 校の図書委員会生徒全 96 人が基礎的な図書管理・運営のための知識・方法を習得し、司書教師の監督下で</p>
--	--

	<p>実践できるようになる。</p> <p>【指標】 ①各校の図書委員会生徒全員が TAAA 指導員の実践テストに合格する (合格点 70%)。②司書教師の監督下で図書室の基本的な運営、管理を行っている。</p> <p><確認方法> TAAA 図書指導員によるモニタリング、実践試験の採点</p> <p>2-4 図書委員会生徒が図書室利用促進活動を行い、TAAA 図書指導員が活動をモニタリングし、アドバイス、サポートを行う。</p> <p>【成果】 図書委員会生徒が、他の生徒たちに図書室の利用法とルールを教え、利用を促すことができるようになる。</p> <p>【指標】 図書委員会活動の一環として、週に 1 回以上、全生徒を対象とした図書室利用促進活動をしている (朝会での図書室紹介など)。</p> <p><確認方法> TAAA 図書指導員によるモニタリング</p> <p>2-5 各対象校で学年末 (12 月) から新年度 (1 月) にかけて、TAAA 図書指導員の指導の下で委員会生徒の新旧交代と引き継ぎを行う。 (2 年次)</p> <p>【成果】 卒業する委員会生徒 (および諸事情で新年度は続けられない生徒) を補完するため、新規メンバーが入会することで、図書委員会生徒数 (8 名) が維持され図書委員会活動が継続できる。引き継ぎを行うことで、新規メンバーは事前に活動内容が把握でき、新年度から持ち上がりの生徒と一緒に図書委員会活動ができるようになる。</p> <p>【指標】 ①各校で新規メンバーの 80% が、TAAA 図書指導員による引き継ぎ実践試験に合格する。②各校で新年度から新規メンバーを含めた 8 名の図書委員会生徒が滞りなく図書活動を行っている。</p> <p><確認方法> 実践試験の採点、TAAA 図書指導員によるモニタリング</p> <p>3. 読書習慣を育む</p> <p>3-1 TAAA 図書指導員は対象小学校で教師と共に英語の本の読み聞かせと音読指導をする。対象中高校では図書委員会生徒と共に本の紹介や読書推進活動を行う。</p> <p>【成果】 対象校の生徒たちが本に親しむようになり、図書室を利用するようになる。</p> <p>【指標】 各対象校で下記の表に記された図書室利用者目標数以上の生徒が図書室を利用するようになる。</p> <p><確認方法> 図書室利用者記録帳、図書貸し出し帳、プロジェクトマネージャーおよび TAAA 図書指導員によるモニタリング、司書教師への聞き取り調査とアンケート</p> <p>3-2 本を借りた生徒は、年に一回以上英語または現地語 (小学校低学年) でブックレビューを書いて提出し、司書教師と TAAA 図書指導員がチェックする。</p> <p>【成果】 対象校生徒の英語の読み書き能力が向上する。</p> <p>【指標】 学区長と TAAA が共同で全対象校生徒対象、各学年 (小学校</p>
--	--

1年～高校3年)用に作成した英語の読み書き基礎テストで
全生徒の70%が合格する(2年次)。

<確認方法> テスト結果集計・分析

3-3 各対象校で年に1回以上、図書イベントを開催する。また、生徒がポスターや詩の制作をして読書推進を行う。

【成果】対象校の生徒が図書イベント活動に参加することで、読書への興味が高まり、図書室の利用や本の貸し出し数が増加する。

【指標】各対象校で表に記した図書室利用者目標数以上の生徒が図書室を利用するようになる。

<確認方法> 図書室利用者記録帳、図書貸し出し帳、プロジェクトマネージャーおよびTAAA図書指導員によるモニタリング、司書教師への聞き取り調査とアンケート

対象校別図書室週間利用者数(目標値)

学校名	生徒数 (人)	1年次	2年次
		図書室週間 利用者数 (人)	図書室週間利 用者数(人)
Beulah Primary	394	40	80
Cophela Primary	777	80	160
Dweshula Primary	470	50	100
Emseni Primary	150	15	30
Imbalencane Primary	944	100	200
Mehlomnyama Primary	285	30	60
Umalusi Primary	500	50	100
Duduzile Secondary	556	60	120
Nani Junior Secondary	241	25	50
Malusi High School	485	50	100
Mangquzuka High School	611	60	120
Mgamule High School	595	60	120
TOTAL	6008	620	1240

図書室利用：蔵書を借りる、図書室内で読書、自習(書籍利用)

4. パソコン技術指導(2年次)

4-1 司書教師対象の研修会を開催し、活動内容の確認や活動の進め方を指導する。

【成果】対象校の司書教師が、活動の趣旨を理解し、確実に活動を進められるようになる。

	<p>【指標】 研修会后、全対象校の司書教師全員が TAAA パソコン指導員によるブリーフィングテストに合格する(合格点 80%)。 <確認方法> テスト結果、TAAA 図書指導員によるモニタリング</p> <p>4-2 TAAA 図書指導員は、図書委員会生徒にパソコンの基礎操作技術を指導。知識と技術習得を確認するテストを行う。 【成果】 各校の図書委員会生徒がパソコンの基礎操作技術を習得する。 【指標】 各校の図書委員会生徒 8 名のうち 7 名以上が TAAA 図書指導員による基礎技能テストに合格する(合格点 70%)。 <確認方法> TAAA 図書指導員によるモニタリング、調査および技能テストの実施と採点</p> <p>4-3 司書教師の監督下、技術を学んだ図書委員会生徒が図書室で他の生徒に指導し、TAAA 図書指導員が活動をモニタリングする 【成果】 各校の図書委員会生徒がパソコンの基礎操作技術を他の生徒に指導できるようになる。 【指標】 ① 各校の図書委員会生徒計 96 人のうち 6 人以上の生徒が他の生徒に教えられるようになる。 ② 各校で指導を受けた全ての生徒のうち、70%以上が州教育省の認定するパソコン操作技能テストに合格する(合格点 70%)。 <確認方法> TAAA 図書指導員によるモニタリング、調査および技能テストの実施と採点</p>
(7) 持続発展性	<p>1. 事業開始時に TAAA、州教育省、および各対象校の三者間で以下についての合意書を結び、事業終了後の持続発展に向けた準備をする。</p> <p>① 対象校は図書室および蔵書・教材を有効活用し、読書習慣を発展させ、生徒たちの英語力を向上させていく。</p> <p>③ 図書委員会生徒の新旧メンバー間の引き継ぎ作業に関しては、各対象校の図書委員会規定・方針に「学年修了時と新年度に行うこと」を明記することで、毎年引き継ぎが確実に行われ、活動内容が引き継がれていく。</p> <p>④ 事業終了後、コンテナ図書室およびパソコン等の資機材は教育省に譲渡される。対象校は州教育省ドゥエシューラ学区長の監督下、資機材の管理を責任もって行う。</p> <p>⑤ パソコン指導については、事業終了後も司書教師の管理下、指導者生徒たちによって、パソコン基礎技術指導を継続させていく。</p> <p>⑥ 上記の約束が守られない場合、教育省はその学校から別の有望な学校に資機材を移転する。</p> <p>2. 事業開始時に TAAA と州教育省図書情報部門(ELITS)は、以下についての合意書を結び、事業終了後の持続発展に向けた準備をする。</p> <p>① ELITS 地域担当者には、司書研修会へ参加、協力してもらい、事</p>

業終了後は、ELITS が学区内での司書研修会および読書推進イベントを開催して、対象校の司書教師や生徒の参加を促す。

②事業終了後は、ELITS が対象校図書室への蔵書補充を行う。

3. 事業実施期間中、プロジェクトマネージャーは TAAA 図書指導員と共に対象校を訪問して図書活動の推進と進捗確認を行い、対象校における活動の定着を促す。

また、学区長および ELITS 担当者と連絡を取り合い、事業終了後の活動の継続に向けた協議を行う。学区長には対象校の活動の進捗確認と校長へのアドバイスを依頼し、図書部門担当者には事業実施期間中においても州教育省図書情報部門 (ELITS) 主催の司書教師研会開催および対象校への訪問指導を行うよう依頼し、引き継ぎの準備を進めていく。

4. 他校、他学区への図書活動の普及については、創意工夫により比較的成本やスペースをかけず、また委員会制度により生徒たちが成長し、継続しやすい当事業の方法を州教育省関係者に紹介し、モデルケースとして応用していくように奨励する。